

震災後の 道路維持管理 事業 について

Q 質問 震災復興・生活道路再生事業を実施しての課題を伺います。

答 弁 A 土木部長 事業期間中、生活道路などの市道について、一定の成果が表れてきましたが、労務単価や資材価格の上昇の影響により、当初計画の内、未施工となった箇所があること、その後の路面等の経年劣化や復旧・復興事業に伴う大型車両の増加により、新たな路面破損箇所が発生したことなどです。

Q 質問 課題が2点出ましたが、今後の解消に向けた本市の考え方を伺います。

答 弁 A 土木部長 当該事業は本年度で終了予定であります。道路交通の安全確保と円滑化を図り、将来に渡る快適な道路空間を維持するため、今後も、舗装補修工事等を実施する維持補修予算の継続的な確保に努めたいと考えます。

本市は、事業予算を毎年6億円計上していましたが、課題解消に向け取組むために、この3年で完全に完了とすることは非常に難しいと考えます。今後も、市内各地から要望は続くと予測できます。事業自体は完了となりますが、同規模の生活道路補修・修繕関係事業の継続した実施を強く要望します。

地域に密着した事業が着実に進められています。



常磐岩ヶ岡
法面補強工事



After



After



平鎌田
道路補修工事



After



After



平祢宜町
橋梁路面補修工事



Before

生活道路再生事業などのインフラ整備は大変重要と考え、地域の皆様の要望が実現できるように日々活動しています。

そして、地道なパトロール活動などにより、安全・安心の確保に向けて努力しています。



道路にできた
ヒビや溝などの
応急補修処理



局部改良工事
の実施



雨水の処理が追い
付かなくなり、吹
き上げられた側溝
の蓋を補修処理

あとがき

バレーボール競技から遠ざかってずいぶん経ち体型も変わりました。しかし、今でもテレビにバレーボールの試合が映るとどうしても力が入ってしまいます。さて先日、母校に何う機会があり、部室を見ることができました。何十年前の私たちのスコアブックが残っていて大変懐かしく見てきました。当時はサーブ権ありの15点制でした。一関高専との公式戦2対13から逆転勝ちしたスコアが残っていて昨日のこのように胸を熱くさせました。その後、現メンバーに熱く指導してしまいましたが、あらためて何事もあきらめず頑張ろうと思いました。これからも皆様からのご意見・ご提言を丁寧にレシーブしてまいります。



福島高専バレーボール部の練習風景

西山かずみのプロフィール

昭和34年9月13日（いわき市平生まれ）
いわきバレーボール協会 副会長／
中神谷スポーツ少年団 顧問

経歴

国立福島高専機械工学科卒
アルプス電気(株)東京本社入社
「タウン情報いわき」の(株)アドプラン入社
ときわ会グループ(株)シグマ入社
29才で総合広告代理店(株)デップを起業

Profile